

## 第92回新生ふくしま復興推進本部会議第11回福島イノベーション・コースト構想推進本部 合同会議 議事録

- 日時：令和元年9月2日（月）9：10～9：22
- 場所：特別室（本庁舎2階）

### 【井出副知事】

只今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、議題の（1）「アーカイブ拠点施設の名称及び展示概要（案）」について、文化スポーツ局長。

### 【文化スポーツ局長】

資料1を御覧ください。来年度の開所に向けて双葉町に整備を進めておりますアーカイブ拠点施設の名称及び展示構成について説明いたします。

名称については、施設の目的や内容を分かりやすく示す「東日本大震災・原子力災害伝承館」としたいと考えております。

なお、下段に基本構想で定めた、基本理念・主要事業等を記載しております。今回は、右側、4つの事業のうち「3展示・プレゼンテーション事業」について、最下段のとおり、震災前の地域の様子、震災の発生、そして復興への取組などについて、蓄積された資料や語り部による生の声により、1から6のストーリーに沿って伝えていきます。

裏面を御覧ください。施設の展示構成（案）であります。左上「1. プロローグ」では、展示ストーリー全体を大画面映像で表現いたします。「2. 災害の始まり」では、映像や模型等を用い、地震・津波・原発事故発生の状況を時系列で解説いたします。「3. 事故直後の対応」では、避難の状況や海外の反応等について、「4. 県民の想い」では、事故後の県民生活の変化と当時の想いを証言等を通じて伝えます。「5. 長期化する原子力災害の影響」では、除染、風評、長期避難、健康不安の4つに焦点を当て解説いたします。「6. 復興への挑戦」では、各分野における復興への取組等を発信することにより、県内の他施設及び地域への回遊を促進してまいります。以上です。

### 【井出副知事】

只今の説明に関して、何かありますか。

**【会計管理者】**

質問なのですが、2つあります。

国内外に発信する施設ということで、来年のオリンピック・パラリンピックに向けても発信が重要、国内への発信が重要だと思うのですが、そういう意味でここに「福島」という名称を入れる検討をどのようにしたか。そして、英語名ですね。英語で国外に発信することについてどのように検討をしたかを聞きたい。

**【文化スポーツ局長】**

今回の「東日本大震災・原子力災害伝承館」については、ここに記載されているとおりに他に例を見ない複合災害であるということですので、これらを国や世代を超えて継承・発信するという考え方から、「福島」という名前は用いず、「東日本大震災・原子力災害伝承館」といたしました。

それから、英語の関係、日本語表記のことですが、資料に記載のとおり、平易な日本語表記で、世代を問わず分かりやすく表現するということで考えたものです。

なお、これまでアーカイブ拠点施設という言葉も使っておりますので、アーカイブ拠点施設である「東日本大震災・原子力災害伝承館」としたいと考えております。

**【井出副知事】**

他にありますか。なければ、名称及び展示構成について原案のとおり決定いたします。知事からお願いいたします。

**【知事】**

アーカイブ拠点施設である「東日本大震災・原子力災害伝承館」については、複合災害の記録や教訓を、国、地域、世代を超えて、未来に継承していくという重要な役割があります。

復興に向かう福島の姿とともに、福島の経験をしっかりと伝承していけるよう、市町村、関係機関と連携し、着実に取り組んでください。

**【井出副知事】**

次に報告事項の1つ目「国の令和2年度予算概算要求」、報告事項の2つ目

「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料2を御覧ください。政府予算対策の成果を整理いたしました。資料左側に、先月の福島復興再生協議会において、知事から直接要望いただきました重点7項目を記載しております。右側には先週末の概算要求の主要事項を記載しております。

避難地域の生活環境の整備や被災者支援に関する予算が盛り込まれております。風評対策、産業・生業の再生につきましても、引き続き予算計上されております。最下段ですが、復興関連税制に関する所要の措置が盛り込まれているところです。引き続き、12月末の政府予算の決定に向け、本県の実情や課題をしっかりと伝えてまいります。

資料3を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想推進関連予算についてです。まず、研究開発・産業集積の加速化につきましては、福島第一原発の廃炉・汚染水対策につきましても、技術的難易度の高い研究開発等について、新規予算が計上されております。先端農林業ロボット研究、地域復興実用化開発に必要な予算が盛り込まれております。立地補助金等につきましては、制度延長の要求がなされております。次に、構想を支える教育・人材育成につきましては、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成の必要経費が盛り込まれるとともに、復興知事業が増額されているところです。浜通り地域等への交流人口・生活環境の整備につきましても、盛り込まれる予定です。推進体制の強化につきましては、推進機構の体制強化に必要な予算について盛り込まれております。

引き続き、国・市町村と緊密に連携しながら、福島イノベーション・コースト構想の具体的な成果が早期に発現するようしっかり取り組んでまいります。説明は以上です。

**【井出副知事】**

この件に関して、避難地域復興局長。

**【避難地域復興局長】**

避難地域の復興に向けまして、住民帰還に必要な生活環境の整備や、帰還困難区域の再生、避難者支援の充実など、復興の進捗に応じた課題に対する支援を要望してまいりました。

その結果、福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業など、必要な予算が計上されるとともに、被災者支援総合交付金を始め、被災者の生活再建に関する事業もしっかりと盛り込まれております。

引き続き、着実な予算化に向け、関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

**【井出副知事】**

次に、生活環境部長。

**【生活環境部長】**

生活環境部関係では、特定復興再生拠点に係る経費、中間貯蔵施設の整備、放射性物質汚染廃棄物の処理、さらには、除去土壌等の適正管理や搬出など、本県の環境回復の進展に応じた必要な予算が盛り込まれております。この他、鳥獣被害対策、そして被災地における公共交通の再生など、県民生活の安定・向上を図るための予算が計上されております。

今後、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

**【井出副知事】**

保健福祉部長。

**【保健福祉部長】**

保健福祉部におきましては、被災者に寄り添った長期的な取組が必要である「被災者の心のケアへの支援」、「避難地域の介護サービス提供体制の再構築」など、必要な予算が計上されたところであり、当方の要望を厚生労働省始め、関係省庁にしっかりと受け止めていただけたものと考えております。

本県の保健医療福祉の復興・進展に欠かせない中長期的にも必要な予算の確保に向けて、今後ともしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

**【井出副知事】**

商工労働部長。

**【商工労働部長】**

商工労働部関係では、福島イノベーション・コースト構想において重点的に

取り組む福島ロボットテストフィールドや地域復興実用化開発促進事業などの予算が計上されました。

また、新産業の創出、産業再生については、企業立地補助金の継続が盛り込まれたほか、福島新エネ社会構想の実現に向けた事業や産総研が実施する県内企業の技術開発等に係る予算などが計上されました。

今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を図ってまいります。

**【井出副知事】**

農林水産部長。

**【農林水産部長】**

農林水産部関係では、風評払拭に向けて、GAPの認証取得や農林水産物の販路拡大など、生産から流通、消費に至る総合対策を推進するための「農林水産業再生総合事業」について、今年度と同額の47億円が計上されております。

また、避難地域の営農再開に必要な機械・施設の導入等を支援する「原子力被災12市町村農業者支援事業」について、基金の積み増しが盛り込まれました。その他、農業・農村整備や森林の放射性物質対策などが含まれておりまして、これら予算が確実に確保されるよう引き続き関係省庁と調整を進めてまいります。

**【井出副知事】**

土木部長。

**【土木部長】**

土木部では、本県の復興再生に不可欠なインフラ整備を重点的に要望しておりますが、相馬福島道路の全線開通及び常磐道のいわき中央ICから広野IC間の4車線化について、2020年度までの完了が概算要求に盛り込まれております。

一方、復興事業以外では、国土強靱化の取組に関して、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の予算が盛り込まれており、引き続き、必要となる予算の確保に向け取り組んでまいります。

**【井出副知事】**

教育長。

**【教育庁政策監】**

教育庁関係では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置の継続に関する必要な予算が概算要求に計上されており、当方からの要望を踏まえたものになっていると受け止めております。

また、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のためのハード・ソフト両面の予算が計上されており、構想を支える人材育成の充実に向け一層取り組むとともに、福島ならではの未来創造型の教育を進めてまいります。

今後とも、子どもたちが安心して学び続ける環境を提供できるよう、復興庁や文科省との連携を密にし、必要な予算の確保に努めてまいります。

**【井出副知事】**

他にありますか。

なければ知事からお願いします。

**【知事】**

国の来年度概算要求の状況がまとまりました。今、部局長から説明がありましたが、帰還に向けた生活環境整備の加速、被災者の生活再建支援のほか、福島イノベーション・コースト構想の更なる促進に必要となる研究開発や産業集積の促進などが盛り込まれるなど、おおむね本県要望を踏まえる形で、各省庁に対応していただきました。

これは、復興大臣を始めとする関係の閣僚、各省庁が、本県が抱える課題を真摯に受け止め、復興に向けて必要な対応をなされた結果であると考えております。

復興・創生期間の最終年度である来年度に向け、年末の政府予算案に確実に盛り込まれるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてください。

また、復興・創生期間後の体制・財源の確保についても、重要な局面を迎えます。安心感を持って切れ目なく確実に復興を進めていくことができるよう総力を挙げて取り組んでください。

**【井出副知事】**

以上で、合同会議を閉じます。